令和3(2021)年 5月6日発行 第122号

こびとのおうちえんLetter 5月号

by あこ

「暑いねー。海いきたいなあ。室積。」とあこからリクエスト。とってもうれしい！そうそう、どんどん言ってね！明日行こう！そんな流れがあって。。。

次々の室積の海。すぐにはだかになったのは、しょうま。みらい がももちゃんと海につかっている!! 晴れて海は澄んでてきれい。だけど、ン冷たかった!!!

でも徐々にあこもしおりもかとんもあかりもいろのぶりも！次々に海へ。みんなで走ってジャブーン。

ああ、なんて気もちいい。浜であそんでいるメンバーもけっこう遊びこんでいる。トンネルほって道つくって 水田つくって家つくっていい。うんうん。さむくなったら砂にうまって。

私も次回は、およぎたいなあ～。(4/21)

5月のお母さんグループ

「お母さん」は休みなし。でも、時々「私」自身にもどる時間も必要です。「話す」ことと、「聴く」ことで、ふとした気づきが生まれたり、少し楽になったり…。

問題解決や悩みの除去にとらわれずにていねいに自分に触れる時間。そんな時間をご一緒できたらと思います。

聴き合うグループを軸に時には体験学習をまじえながら 月1回 行っています。ぜひご参加下さいね。

5月21日(金) 13:00～15:00

場所 フリースペース「もみじのいえ」(仮)
おうちえんOB現てらこや せりちゃんから貸していただけることになりました！

内容 ・フィーリング グループ(自分の気もちにていねいに触れる時間、メンバーの気もちを聴き合う時間)
・おうちえんで大切にしている関わり

※参加される方は一事前におしらせ下さい。当日でもOKです。

＿＿＿＿＿＿の様子をおしらせします。

4月はこんなことしました

- たけのこほり
- イタドリとり
- のいちごさがし
- 山たいけん
- ゆうびんごっこ
- ふきとり(ふきの下処理)
- けいどろ
- マラソン
- 野球
- たねまき(らかせい ひまわり ゴーヤー etc.)
- 川で水ばく
- お花のかんむり作り
- 公園の上の山であそぶ
- 大玉様の木へいに
- おすもう
- ハンやさんごっこ
- おたまじゃくしとり
- 室積・豊浦であそぶ
- 亀の池までおさんぽ
- 日向平にこいのぼりを見にいく
- カエル・イモリとり
- 紙ヒコーキづくり
- えのぐでおえかき
- たんぽぽパン・ケーキ作り etc.

5月のスタッフ募集
・のいちごつみ
・マテ貝ほり

26日(水) おべんとうの日

おべんとうの準備をお願いします。
※行き先は未定です。

おひるごはん。
たきとがキヌサヤの皮をむいて中を出そうとしてるので、「それ全部食べられるよ。」と言ったら、同時にあこうのテーブルから、あっきーが、「こっちもむいてます!!」(4/12)
しょうまもおんなじことをしてた。

よっこのちょこっとおうちえん日誌 5月のあれこれ

ゴールデンウィーク中、たんぼの作業の合い間に、おうちえんを卒園して今、てらこやの1年生になったつばめと過ごす時間があった。たんぼにアマガエルがいて2人でそれをしばらく見てた。それから、キャッチボールをした。すぐに他の子がやりたいと言ってきて、「こったの5球くらいしかキャッチできなかったけど、つばめの投げてくる球が、バシッとグローブの中にとびこんでくるのが爽快だった。つばめが 私といる感じが残んでいてとてもうれしかった。

てらこやに入ったらさ ろくだいも、今は「よお！」と声をかけることはあっても、ニコッとした笑顔が返ってくる程度のコミュニケーションだ。こどもたちは 次のステージへ進み、一生けんめいとり組んでいる。それがわかるから、さみしがってばかりもいられない。

そして、私も新たなメンバーでの日々に喜びを感じて過ごしている。こどもたちは、新たな関係の中で、様子を見たり、ぶつかったり、考えたりしながら、たくましくやっている。思うようにならない体験もたくさんしている。

ある日のさよならミーティングでのこと。1日をふりかえっての話をきいていると、たきとが
た「穴ほりしたかったけど、入っちゃダメって言われた。」 よ「たきとは、どう思ってたの？」
た「あー、そうかあ、と思った。」 よ「あとは、どんな気もち？」
た「ざんねんだなあって思った。」 よ「そうかあ、ざんねんだったね。」

たきとが、相手を受けとめていること、そして自分のきもちをつかんでいることに感動していた。
それから、はるだいが「穴ほりができたのしかった。2人でやりたかったから、入ってほしくないと言った。」
びーばも「うん、そう。」とうなづいた。

まずいなあ、とか、しまったなあ みたいな言いにくそうな感じではなかった。正直にそのとき思っていたことをたきとに伝えたことをきいて、またうれしかった。 どちらも、すごいねえ、と思う。こどもたちは しっかりと自分を生きようとしている。

「見聴く」ことや「そのままを受けとめること」が大事でそのことに心を注ごうと思っていても、自分の価値観や気もちに焦点を合わせて人の話をきいてしまうことが多々ある私。寄りそうって むずかしい。そのままを認めるってホントにむずかしい。と日々、考えさせられる。話したことばや自分の態度をふりかえる。

自分の感覚や感性を大切にしながら、いかにいろんな人の心と出会っていくのか。学ばせてもらおう。

宮野 嘉子

M.M前のおすもう会。丸じゃなくて、// ‥ // ←線から線までが範囲。
広い？ はるだいvsあっきー。はるだいvsあさひ。はるだいvsよっこ。
はるだいは、いろんな子と気軽にやっていた。
あっきーvsあこ ほのか。あっきーvsかのん びーば。
私は、そばで見てるあかりがどんなくみあわせならやってみたいと思うだろうと考えていた。
そして、よっこvsあかりってゆうのはどう？と言ったら、「やる」だった。やらないと思ってたのでビックリ！うれしい！
そして私も「あっきー、つよいからなあ…」でし、大人対大人ってのはなかなかせんことなので、どきどきして組んだ！
あっきーは、つよい～～～!! 2人でがんばったけど、たおせなかった。
でも、あかりがおすもうデビューしてうれしかった!!(4/8)

しょうまに
ももちゃんが「どっかいくときは、言ってね。」
しょうま「言ってくれよう。」(4/9)

前スタッフくるみの赤ちゃんがうまれたと連絡があった。
2744g。すぐにはかりを出してお米で、はかって、不織布の袋に入れた。
そして、みんなで、赤ちゃんをだっこした。みんなが、大事にかかえていた。「赤ちゃんて重い。」とだれかが言った。
よしみさんやようこさんが、愛しいといって抱いていた。(4/22)

森の中、木にしがみついてあこうが少しずつ足をうしろにうごかして
つるをつたって「どこまでいくのかな?」
といって上にむかっていくのをおもしろがっていた。(4/7)

ももちゃんが「茶つみ」のうたがうたいたい！と言った。
そして、私とももちゃんでむきあって、手あそび(?)してみせた。
何年ぶりだろう――。
これ、はやらせたいな。(4/30)